



このたびは、株式会社ハナヤマの「名探偵コナン推理ゲーム 謎の地下室殺人事件」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本商品は「名探偵コナン」の世界をモチーフにした推理ゲームです。ご使用前に必ず注意事項や遊び方をよく読んでください。なお、この説明書は遊んだ後も大切に保管してください。

はいているもの

プレイヤーコマ・推理カード・ミステリーカード・探偵メモ・容疑者チップ・凶器チップは遊ぶ前にシートから切り取ってください。

●ゲームボード:1枚



●プレイヤーコマ:計6個



※2つに折り曲げ、コマスタンドに差し込んで使用します。

●コマスタンド:6個



●サイコロ:1個



●推理カード:計21枚



容疑者カード:
計6枚

部屋カード:
計9枚

凶器カード:
計6枚

●ミステリーカード:計15枚



●探偵メモ:計6枚

探偵メモ			
容疑者	凶器	部屋	部屋
石倉 理恵	ナイフ	キッチン	玄関
青崎 ヒロ	銃	倉庫	テラス
藤川 直典	ピストル	設備室	書斎
白井 浩二	ロープ	ベッドルーム	
赤木 雨平	トロフィー	バスルーム	
榎田 亜々子	ボウガン	ダンスホール	

※事前にコピーすることで繰り返しご使用いただけます。

●容疑者チップ:計6個



●凶器チップ:計6個



●遊び方説明書(本紙):1枚



FILE.

地下室で起こった殺人事件!

～「だれが」「どこで」「なにで」殺したのか? 3つの謎を解いて事件を解決しよう!～

財閥の社長、石黒毅氏が屋敷の地下室で何者かに殺された。

容疑者は屋敷に関係があり、当時のアリバイがない6名。凶器は6個に絞られた。

そして犯行現場はどうやら地下室ではなく他の9箇所の部屋のどこかだという。

犯人・犯行現場・犯行に使われた凶器を推理し、この謎に包まれた事件の真相を暴け!

じゅんぴ

- ①各プレイヤーは自分のプレイヤーコマを決め、そのキャラクターの探偵メモを配ります。
プレイヤーコマはゲームボード上のそれぞれのスタート位置に置きます。
※3～5人でプレイする場合は、余ったプレイヤーコマはゲームで使用しません。
- ②すべての容疑者チップ、凶器チップをゲームボード上の好きな部屋へ自由に置きます。(事件の解決の時に使います。)
- ③推理カードを「容疑者」「部屋」「凶器」に分けてよく切り、それぞれのカードを1枚ずつ誰にも見えないようにゲームボードの犯人カード置き場に裏面を上にして置きます。この3枚のカードが事件の解答になります。
- ④残ったカードは全部まとめてよく切り、じゃんけんで勝った人から時計回りの順番に全て配ります。
各自、受け取ったカードは他のプレイヤーに見えないようにしてください。
※配られる推理カードは18枚のため、4人プレイ、5人プレイの場合は同じ枚数にはなりません。
- ⑤ミステリーカードはよく切り、ゲームボードのミステリーカード置き場に裏面を上にして置きます。

「工藤 新一」スタート位置

「沖矢 昴」スタート位置

「灰原 哀」スタート位置

「江戸川コナン」スタート位置

「秘密の階段」スタート位置 (4箇所)

「服部 平次」スタート位置

「安室 透」スタート位置

ミステリーカード
ゲット!マス

部屋マス (9箇所)

ミステリーカード置き場
カードをよく切り、山札を作ります。
裏面を上にして置きます。

犯人カード置き場
それぞれカードをよく切り、
誰にも見えないように1枚ずつ
選んで裏面を上にして置きます。

カードの説明

推理カード

- 『容疑者カード』『部屋カード』『凶器カード』の3種類あります。
- ゲーム開始前に3種類のカードの中から1枚ずつ、誰にも見られないように犯人カード置き場に裏面を上にして置きます。
- 残ったカードを手がかりに、犯人カードを推理していきます。



容疑者カード:計6枚



部屋カード:計9枚



凶器カード:計6枚

ミステリーカード

- 「ミステリーカードゲット!」マスに止まった際に、山札の一番上から1枚引き、その場で出たカードの指示に従います。
- アイテムやキャラクターが助けてくれることもあれば、邪魔してくることもあります。指示の内容は各カードを確認してください。
- 使用されたカードは山札とは別にして置いておきます。山札がすべてなくなった場合は使用されたカードをよく切ってもう一度山札にします。



探偵メモの説明

プレイ中の推理をメモする際に使います。

鉛筆などご用意ください。

自分の手持ちの推理カードや、他のプレイヤーが

持っていた推理カードの欄にチェックを入れていきます。

最後までチェックされないカードが、犯人カード置き場に

隠されているということになります。

※推理メモは他のプレイヤーに見られないようにします。

※遊ぶ前にコピーをすることで2回目以降もお使いいただけます。

(例) 手札に「青島ヒロ」[ロープ]「応接間」がある場合

探偵メモ			
容疑者	凶器	部屋	
石黒 理恵	ナイフ	キッチン	玄関
✓ 青島 ヒロ	毒薬	食堂	テラス
綾川 亜美	ピストル	✓ 応接間	書斎
白井 浩二	✓ ロープ	ベッドルーム	
赤木 翔平	トロフィー	バスルーム	
禮田 奈々子	ポーガン	ダンスホール	

自分のプレイヤーコマと同じキャラクターの探偵メモを使おう!

マスの説明

自分の順番になったら、サイコロの出た目の数だけ進みます。

マスは前後左右に進むことができます。※斜めには移動できません。

他のプレイヤーがいるマスには止まれません。そのマスは飛び越して進みます。

マスの種類

スタートマス

プレイヤーコマによってスタート位置が異なります。



ノーマルマス



ミステリーカード ゲット! マス

ミステリーカード置き場から1枚カードを引き、その場で指示に従います。



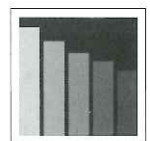
部屋マス

各入り口から出入りすることができます。1マスとして数えますが、出た目の数に関わらず必ずストップします。他のプレイヤーがいても入ることができます。複数の出入り口がある部屋もあります。



秘密の階段マス

4箇所の角の部屋マスの中にあり、テラス⇄ベッドルーム、キッチン⇄書斎へ移動することができます。このマスは1マスとして数えます。



ゲームの流れ

各プレイヤーは、自分が受け取った推理カードと他のプレイヤーの行動を手がかりに『犯人』『犯行現場』『凶器』を推理します。

①ゲーム開始

推理カードを配った際のじゃんけんで勝ったプレイヤーから時計回りの順番でスタートします。サイコロを振り、犯行があったと推理した部屋を目指してプレイヤーコマを進めていきます。

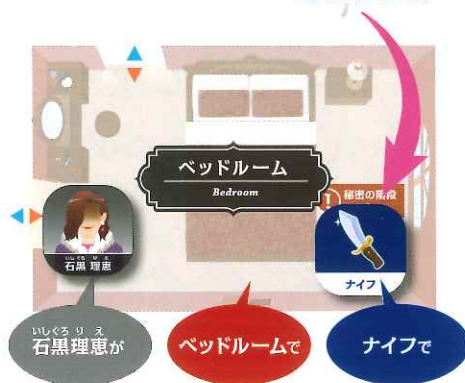
②事件の解決

プレイヤーコマが目指す部屋に到着したら『事件の解決』にかかります。犯人(容疑者)・使用した凶器と思われるチップをその部屋に移動します。

チップを部屋に移動

③宣言

自分が推理した『犯人』『犯行現場』『凶器』を『宣言』します。
(例)「この犯行は、『石黒理恵』が『ベッドルーム』で『ナイフ』を使って行った。」



④チェック

『宣言』を行ったプレイヤーの左隣のプレイヤーが手持ちのカードを『チェック』します。手持ちのカードの中に、『宣言』された『容疑者』『部屋』『凶器』のうち当てはまるカードがあれば、『宣言』したプレイヤーにだけ1枚見せ、推理が間違っていることを教えます。当てはまるカードが複数枚あっても、1枚のみ見せてください。手持ちのカードの中に、『宣言』された『容疑者』『部屋』『凶器』のカードが1枚もなければパスして、さらに左隣のプレイヤーが手持ちのカードの『チェック』を行います。誰かがカードを見せてくれるまでそれを続けます。推理が間違っていることがわかったら、次のプレイヤーに順番が移ります。
※推理が間違っていたら『探偵メモ』に記しておきましょう。

POINT

- 再び自分の順番がきた際、サイコロを振らずにその『部屋』で続けて『宣言』を行うことができます。
- 偽りのパス(『宣言』に対して『チェック』する時、カードがあってもないふりをすること)はできません。

⑤告発

『宣言』した『容疑者』『部屋』『凶器』のカードをどのプレイヤーも持っていない時、または自分の推理に確信が持てた時には、その場で『告発』することができます。(確信がない場合は『告発』せずに次のプレイヤーに順番が移ります。) 告発する場合は『告発します』と言い、自分の『宣言』を再度声に出して、犯人カード置き場のカードを他のプレイヤーに見られないように自分だけ確認します。もし『告発』が間違っていた場合は、カードを裏返しのまま犯人カード置き場に返してください。
※自分の順番の間であればいつでも『告発』できます。

POINT

- 『告発』ができるのは1人1回だけです。
- 間違った『告発』をしたプレイヤーはリタイアとなり、ゲームが終了するまで他のプレイヤーに対して『チェック』だけを行います。

ゲームの勝敗

『告発』の結果、自分の宣言とゲームボード上の犯人カード置き場に置いてある3枚のカードが同じであれば、そのプレイヤーの勝利でゲーム終了となります。
※全員が『告発』に失敗した場合、プレイヤー全員の負けとなります。